

611荷姿の物を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2017	12	14~15	店内で歩行中、ダンボール箱に躓いて転倒し、左膝を打って骨折した。	62	2	80209	1~9
2	2017	12	5~6	ロールBOX上段の荷物を降ろそうとしたところ、思っていたより重量があり、荷物を受け止めたときに腰を痛めた。	33	19	40301	50~ 99
3	2017	12	12~13	新しい工程に関する教育が開始され、その工程では十数種の部材を5~10pcsまとめてピッキングし、組立ラインへ供給する作業のほか供給のための前準備で、少し屈んだ姿勢で30分程の軽作業やコンテナ一杯の部品を棚や台車に載せる入庫作業等があった。なかでも腰を捻る動作や、屈んだ姿勢での作業が腰への負担となり、腰が痛み始めた。上長に相談し、屈んだ姿勢での作業を低減させる等の措置を取ってもらったが、腰痛は治らず、診察・検査で腰椎椎間板症の疑いと診断を受け、その後、腰痛で会社を欠勤している。	48	19	11302	300 ~ 499
4	2017	12	4~5	クール定温仕分室内で、コールドボックスを両手で引っ張っていた際に、右から別のコールドボックスが押し出され、右手甲を挟んだ。	22	7	40301	500 ~ 999
5	2017	12	11~12	廃棄ダンボールの貯蔵場所へ向かうため、両手にダンボールを持ち、地下厨房から地上屋外への坂道を駆け上がった際、直前に冷蔵庫で作業しており、体が冷えていたのもあり、右ふくらはぎの筋肉がブチッと切れたようになり、病院を受診した。	46	19	80209	1~9

6	2017	12	7~8	トラックの荷台でゲートを稼働して荷下中、荷物を不安定な状態で置いたところ、何らかの衝撃があったのか、突然荷物が被災者の正面に滑り落ちてきたので避けきれず、仰向けに倒れて全身打撲を負った。	67	5	40301	30~ 49
7	2017	12	11~12	倉庫内にてピッキング作業中、商品を膝を使って担ぎ上げようとしたところ、右膝の上部に商品が強く接触し打撲した。	38	3	50101	100 ~ 299
8	2017	12	14~15	当社資材置場にて、4tユニック車を使い足場資材の整頓中、足場材束（1束の高さ1.5m程）に乗って2段目部分を下に降ろそうと玉掛ワイヤーを掛けようとしたところ、1段目足場材束の縁に足を滑らせ地面に飛び下りたところ左足を複雑骨折した。	54	3	30209	—
9	2017	11	17~ 18	集荷に行き、弁当が入った番重を車に積み込む際、庫内で番重を引いていたところ、右足をひねり負傷した。	47	19	40301	10~ 29
10	2017	11	9~ 10	弊社ヤードにて、コンステージの入庫作業中、横倒しの状態で返却されてきたため、起こそうとしたところ、倒れてきたコンステージに右足を挟み、負傷した。	54	5	80409	1~9
11	2017	11	10~ 11	自社3Fの製作部前の作業通路にて、一人で宝石ディスプレイ用台座の再利用の仕分けを行っている際、その台座が入った重さ9~10kgのダンボールの中から台座を取り出そうとした時に、ダンボールとの距離感が狂いバランスを崩し、ゴムスリッパを履いていた足が前に滑って右足指をダンボールにぶつけ負傷し痛くなり、すぐに帰宅し、自宅近くの病院で手当を受けた。	40	3	11709	10~ 29
12	2017	11	13~ 14	棗パレット上部の商品を取るため、1段目のパレットに足を掛けた際、足を滑らせ背中から転倒した。	59	1	80401	10~ 29
13	2017	11	13~	当社、作業所内にて、作業終了後の床の掃除で廃置の積み上げてある（高さ2.5m位）側で掃いている時廃置が崩れてき	34	5	150102	10~

			14	て、左足に当たり負傷した。					29
14	2017	11	10～ 11	商品開発センター内1階作業場にて清涼飲料水の入った重量物の開梱・荷卸し作業中、狭い場所での作業だったため、近くで作業していた人とぶつかりそうになり、咄嗟に避けようとしてバランスを崩し約10kgの清涼飲料水の入った段ボールを持ったまま腰を捻ってしまい、腰を痛めた。	34	19	120109	～ 299	100
15	2017	11	11～ 12	荷物の積み込み作業中に、現場のゴミを回収してゴミ袋からフックを外しに行ったところ、ゴミ袋の持ち手に足を引っ掛け前に倒れ、両手をついたところ、右手捻挫、左手骨折した。	43	2	170101	～ 999	500
16	2017	11	19～ 20	スクータータイプのバイクで朝刊配達中、道路を右折しようとしたところ、後輪が路上の泥にとられてしまい誤って砂利敷きの庭に転倒し、その際バイクと地面の間に右足首が挟まってしまい負傷したものである。その後は会社に報告し、同僚に業務を引き継ぎ自宅で安静にしており、朝一番で病院に受診した。	38	4	40301	～ 299	100
17	2017	11	14～ 15	フレキシブルコンテナバッグ（大型布製バッグ以下フレコン）に空瓶を入れる為にフレコンを開いている作業中、開いたフレコンの紐に足が引っ掛かり転倒した。その際に左腕、肘を強打した。	32	2	150102	10～ 29	
18	2017	10	19～ 20	ビール樽（1樽10kg前後の未開封樽）を冷蔵庫から出す際に、積み上げていたビール樽の1つが本人の足へ落下して足の指を骨折。積み上げられたビール樽が不安全状態であった。	21	4	170209	50～ 99	
19	2017	10	18～ 19	デイリー冷蔵庫内で豆腐の補充のため、パレットを移動させていた。パレットは豆腐24丁で約1.5kg。左のロング台車から右の台車に移す作業で上の段からはじめて、4段め（床から50cm）を持ち上げて、右の台車（80cm）に置こうとした	55	19	80209	50～ 99	

				時、腰に激痛がきて動けなくなった。				
20	2017	10	19～ 20	荷物の積み降ろし等が多い日であり、普段の疲れも重なり発症したと思われる。	30	19	40301	1～9
21	2017	10	3～4	着荷場に空リール端子箱を平台車で運搬し端子空箱を指定の場所に積み上げた。平台車が8段溜まったため、資材エリアに平台車を移動しようと背面に移動し運搬した。平台車運搬時に横に積み上げている特大リール梱包箱が倒れてきて、その弾みで尻もちをつき、倒れてきた特大リール梱包箱が左足脛にあたった。	33	5	11403	300 ～ 499
22	2017	10	16～ 17	現場での仕事を終了し、車で会社に戻り会社の作業場において、車から電動工具を降ろそうとした際、腰に激痛が生じ、動けない状態になった。	39	19	30209	1～9
23	2017	10	13～ 14	製造現場にて段ボール箱に箱詰めされた商品をカゴ車に積んでいる際に箱の下部を持って置こうとした時、カゴの鉄枠部分と商品の上に左手中指と人差し指の根元部分を挟んでしまい、挫傷した。	37	7	10109	100 ～ 299
24	2017	10	16～ 17	ネットスーパー作業室でピッキングの作業中、折りたたみコンテナ（5個重ね、約17.5kg）を床上15cmから持ち上げようとした時、腰に激痛が走った。	75	19	80201	100 ～ 299
25	2017	10	18～ 19	事業所駐車場において、2人1組で大型の荷物をトラックに積み込み作業中、荷物がバランスを崩し、倒れてきた。1人は避けて無事であったが、被災者が荷物の転倒を防ごうとしたところ、支え切れず荷物は倒れ、その際に被災者の左脚が荷物の下敷きとなり、大腿部に打撲が発生した。	33	6	40301	10～ 29
26	2017	10	15～ 16	園芸用の牛ふん40L（1袋17kg）の補充作業中、1回目の補充で8袋ほど台車に積んで在庫置場から30m程離れた園芸売場まで運んで補充し、2回目の補充で4袋ほど台車に積んだところで右足ふくらはぎに激しい痛みを感じた。	53	19	80209	30～ 49

27	2017	9	22~ 23	<p>配送先のパン屋さんにおいて、ドウコンディショナー（パン製造機械で横幅1600mm×奥行1400mm×高さ2200mm重さ約380kg）の入れ替え作業に伴う撤去の為、同僚、取引先の作業員4名で台車に載せようと、台車に向かって機械を倒して載せていた所、（両サイドに2名ずつ倒し終えて手を一斉に離れた所、）機械上部の化粧パネルの引っ張り部分に気付かず頭が当たり、頭部、及び頸椎を負傷したものである。</p>	64	4	40301	10~ 29
28	2017	9	16~ 17	<p>現場において、パレットが3段積み上がっていて、3段目の足が外れており、2段目に上がって支えていたところ、3段目のパレットをフォークリフトが動かした際に、3段目のパレットを支えていた手が外れて下に落ち、左腕で支えた為、左手を痛めた。</p>	29	1	11301	30~ 49
29	2017	9	11~ 12	<p>納品作業時、トラックへ荷物を積み込む際、米（パックごはん）が積まれたバツカン（バケツ）をゲートにすべて積む際に、7~8段積みのもを一気に積み込み、腰を痛めてしまった、当日終業後に、普段通っている整体院に行って診療中に歩けない程の痛みになった。その日は何とか家に帰り、翌日朝起床時に、立ち上がれない程の痛みであった為病院へ行き、医者から「ヘルニア」の為、3~4日の入院が必要との診断を受けた。後日、腰椎捻挫の診断を受けた。</p>	41	19	40301	50~ 99
30	2017	9	22~ 23	<p>上から降りて来る荷物と荷物の中に手が挟まり、左手小指の第二関節を骨折した。</p>	36	7	40301	100 ~ 299
31	2017	9	0~1	<p>当事業場内において、製品検品（1箱50個入りの通い箱より製品を5個ずつまとめて取り出し、検査する）を数カ月前から行っていたが、徐々に右手に違和感を覚え、今回は痛みと痺れが酷くなり製品を持つことが出来なくなった。被災後負荷の少ないラインへ移動し、定時まで就労後、自宅でシップを</p>	22	19	11709	50~ 99

				していたが、痛みが取れない為、翌日接骨院を受診した。				
32	2017	9	11~ 12	得意先において、ガスボンベを据え付けるため、まわして移動させていたところ、草地において、草に足を滑らせバランスをくずして、右足首をひねって骨折した。	44	19	40302	30~ 49
33	2017	9	9~ 10	M6コース1便において、支店受け渡しの際、車両金庫室荷台から高さ1m位の箱台車の中に物件を置こうとした時、右側腰部を痛めた。	57	19	40301	500 ~ 999
34	2017	9	13~ 14	出発するために、旅客搭乗後、機内客室中央通路の手荷物収納棚を閉めようとしたが、手が届かなかったため、座席横足掛けに乗って閉め降りた。その際、収納棚の重みがかかり右足ふくらはぎに激痛を感じた。その後、右足ふくらはぎは腫れていた。	53	19	40103	1000 ~ 9999
35	2017	9	23~ 24	閉店前に牛乳（1ケース約12kg）を補充しているときに腰の違和感を感じ、大きなくしゃみした際、再度痛みを感じる。翌朝、立ち上がったら腰に強烈な痛みが走り、動けなくなった為安静にする。後日、救急車を呼び、肩に痛み止めを打ってもらうが、夜には左足の尻から踵まで痺れが走り、初診を受けた。	47	19	80209	50~ 99
36	2017	9	11~ 12	豚肉を2人で持った際、持ち手の角度が悪く手首の捻挫した。（ひねったのではなく、持ち上げたときに持ち方が悪かったためいためた）	47	19	80109	10~ 29
37	2017	8	6~7	事務所兼寮に事業主が迎えに来たので、トランクに道具箱（幅1200mm×奥行600mm×高さ600mm、重さ30kg程度）を積み込んでいた。一人で道具箱を抱えトランクに乗せた際、きちんと乗りきっておらず、ずり落ちてしまい、道具箱が傾き、そのまま右足の上に落下し骨折した。	18	4	30209	1~9
			15~	店内の飲料の整理・補充作業中、ジュースの段ボールを足元				10~

38	2017	8	16	に置いていた。その上に乗り作業をしていたために、滑って転倒した。	44	1	80209	29
39	2017	8	9~ 10	納品先にて、3段積ドラム荷卸しの際に、ドラム缶を背にしているとき、一番上（3段目）のドラム缶が被災者の上に落ち、ドラム缶とともに荷台から落ちた。	42	4	40302	10~ 29
40	2017	8	19~ 20	トラックヤードエリアからオフロードエリアに向かう通路にて、到着した輸出CMPをオフロードエリアに向けて搬送中、後方から同様に搬送されてきたCMPが踵にぶつかった。	42	6	40301	50~ 99
41	2017	8	9~ 10	当社大型車（最大積載量6,500kg）に、荷物（200kg位）を荷主にフォークリフトで積込みしてもらい、荷台から少しはみ出した部分を、荷台の下から手で押し込もうとし、一人で荷物の角を押したとき、左足首から音がし、痛みが出た。	46	19	40301	10~ 29
42	2017	8	11~ 12	店内バックヤードにて、カゴ台車から荷物を降ろしている際に振り返ったところ、置いてあった段ボールに躓き転倒し、床に強打して左肘橈骨骨折を負った。	42	2	140201	30~ 49
43	2017	8	8~9	被災者はゴミ収集作業に従事し、運転手と共に終日作業に追われ、業務量も最近になく多量であった。翌日朝、右膝の異常に気付き、整形外科に行き療養を行ったものである。	48	19	150109	10~ 29
44	2017	8	10~ 11	店に玄米を配達中、トラックから玄米（30kg）を降ろそうと持ったときに、腰を痛めた。	40	19	40301	30~ 49
45	2017	8	11~ 12	当日は棚卸業務を行っており、高さ2mの場所で製品を数えていた。2段目のパレットに左足をかけ、3段目のパレットに右足をかけており、その際パレットが崩れそうになった為飛びおり、着地の際左足首を折った。	26	1	11502	100 ~ 299
46	2017	7	8~9	納品先の中央病院食品検収室にて納品ケース（385×565×110）を両手にて抱え移動していた際、床に置いてあった野菜ケース（500×700×500）に左足を躓き、前	66	2	80109	30~

				方のコンクリート壁に正面よりぶつかり、顔面（鼻）を強打し、そのまま前方に転倒した際に左膝を床に強打し、同左膝を受傷した。				49
47	2017	7	13~14	レンタルDVDの管理作業中に作業のために置いていたダンボールに足をひっかけつまずいてこけた。	57	2	80209	50~ 99
48	2017	7	10~11	段ボールケース置場において、梱包用段ボールケース（1,000×1,650×50mm重量4.1kg）を設置された棚から取り出そうとした際に、自身の背丈ほどの大きさだったため、腰を後にそらし横に段ボールケースを移動した時、腰をそらした状態で腰を捻ったために4日間の休養を要する急性腰痛症を負った。	30	19	11301	100 ~ 299
49	2017	7	13~14	営業所構内で荷物の仕分け作業をしているときに、フタのあいている仕分けボックスの横を通りフタに体があたってしまいフタが倒れてきて左アキレス腱に当たり損傷してしまった。	48	6	40301	50~ 99
50	2017	7	16~17	当寺院内にある倉庫において、棚卸しで線香の数を確認するためダンボールを開けた際、ダンボールの蓋の角が左目の眼球に当たり負傷した。	69	6	170209	50~ 99
51	2017	7	15~16	従業員通路で、ジュースの段ボールが積み重なった状態で置いてあった。（倉庫内の整理をしていた）本来それをどかすなり避ければ、良かったのだが、またげると思い足をまたいだところ、左足が引っかかりそのまま転倒した。その際に左足をぶつけ負傷したもの。	66	2	150101	100 ~ 299
52	2017	7	11~12	3歳児保育室で園児用テーブルの上に上り、壁面の製作物はずし終わり、テーブルから降りようと、右足を床についた時に、くつ下を履いていたため、床面で滑り、バランスを崩して、尻餅をついた。尾?骨を打って尾骨骨折する。	45	2	160101	30~ 49
				派遣先事業所内に於いて、塗装部品検査の前の準備作業中、				

53	2017	7	11~12	台車（高さ15cm）に7段積みで載っている自動車用プラスチック部品が入っている段ボール箱（45cm×30×25、約5kg）を上から順番に一箱ずつ床に降ろしているとき、最後の7箱目を降ろすため、しゃがみながら段ボール箱を両手で持った時、腰に急に負荷がかかり、その際負傷したもの。	41	19	170101	100 ~ 299
54	2017	7	4~5	右腕を怪我する前日に左肩に痛みを感じており（診断名は左肩腱板損傷）、それをかばいながら、派遣先の倉庫内で郵便局の仕分けする荷物（重量は100kg程度）を台車から2名体制でおろそうとし、右腕に荷物を載せたところ、重量負荷がかかり、右腕筋肉も傷めてしまった。	49	19	170101	100 ~ 299
55	2017	6	9~10	本社工場内のテント倉庫内にて、圧縮梱包した製品の全面にラップを巻く作業終了後、製品を押し移動させようと力を入れた瞬間、腰部に痛みが走り動けなくなった。	57	19	150102	30~ 49
56	2017	6	16~17	荷物の受け取りと搬送のため、工機にてトラック積み込みの準備中、荷台に荷物を立て掛けていたところ、不安定な状態で立て掛けていたためか、なんらかの振動により荷物が右足踵に倒れて来て骨折した。	30	5	170209	1~9
57	2017	6	9~10	日勤開始後、床置きされた3台のコンデンサ（W150×D570×H400mm、重さ24kg）を手で持って、約5m先の台車に一人で運ぶ作業をしていたところ、2台目を持ち上げた瞬間に腰に痛みを感じ、一旦は下ろしたが持ち直して再度台車まで運び、痛みはあったが3台目も一人で運んだ。その後も痛みはあったが、デスクワークのため作業を継続し、昼休憩時に痛みが酷くて動けなくなったため、病院へ搬送された。本来の手順は装置の表示重量を確認し、20kgを超えている場合は必ず二人作業とするところ、重量を確認せず一人で運んだことが原因と思われる。	31	19	170101	100 ~ 299
				到着したチルドコンテナを開けた際に、積荷のビール樽がド				

58	2017	6	6~7	アから脱出してきて床面に着地した。その際、左足親指の上にビール樽が乗り、骨折したものである。尚、チルドコンテナの荷積み状況については、外部から見ることは出来ない。	51	4	110101	300 ~ 499
59	2017	6	9~10	会社車庫にて、仮設トイレを2棟積み込む作業中、トラックの荷台でトイレの位置を修正していた際、誤って左手小指の先をトイレとトイレの間に挟み、該部を負傷した。	52	7	40301	50~ 99
60	2017	6	15~16	工場内シンクで、食器を洗浄してコンテナに入れ、そのコンテナを下（足元）に降ろそうとした時、右腕が突然痛くなった。	70	8	10109	30~ 49
61	2017	6	8~9	タクシー営業中、乗客が降車し、トランクにある乗客の荷物を降ろす際に負傷したものである。	50	19	40201	—
62	2017	6	11~12	荷台から入荷分の商品を下ろす際、段ボールが想定よりも重く、右手肩周りに痛みが発生した。	45	19	80209	50~ 99
63	2017	6	4~5	派遣先にて、印刷ロールを移動する際、隣のロールとの間に右手指先を挟んだ。	34	7	170101	100 ~ 299
64	2017	6	7~8	工場内の水槽の前にて、水を抜いた水槽内から、豆の入った籠を持ち上げ作業中、腰に痛みがはしった。	28	19	10102	10~ 29
65	2017	5	8~9	自社工場内で作業中、台車に載った洗濯物が入った大きな袋（20~30kg）を床に下ろそうとした際、袋が高さ約1.5mの台車の上から落ち、袋の隅に右手小指を引っ掛け、右手小指の第一関節を骨折した。	25	4	11703	1~9
66	2017	5	23~24	工場内にて、配送商品をラインからトラックに積み込む作業の際、通常使用するラインが別の作業により使用出来なかった為、隣接するラインより積み込みをしようと、商品の入ったケースを当該ラインのローラーに引っ張り上げた時に、左肩より異音がすると同時に激痛が走った。すぐに痛みが治	43	19	40301	30~ 49

				まったため作業を続行したが、その後も患部の違和感が解消せず、左肩腱板損傷と診断された。				
67	2017	5	8～9	派遣先工場内において屋内資材置き場片付け作業中、畳んだ段ボール10枚を束にしたもの（重さ約5kg）を所定の位置に運んでいたところ、両手で持ったダンボールを置き場に置こうと前かがみになった際、腰に痛みが走った。	44	19	170209	10～ 29
68	2017	5	16～ 17	材料が入った番重を持ち上げて機械の中に補充する時に手首を捻った。	41	19	10104	100 ～ 299
69	2017	5	16～ 17	使用済みリネンの保管場所にて、回収して来たりネン袋（重さ10kg～20kg）をキャスター付の専用台車から取り外し保管するため、台車に固定している袋を外し床面に置き、袋を閉じるために袋上部の紐を両手で持ち上方へ引っ張り上げたところ、右手の持ち方が不十分であったために右手の親指が紐に引っ掛かり、右手がねじれた。	44	7	130101	50～ 99
70	2017	5	0～1	店舗バックルームで、仕分中にビールのケースを持った時、瞬間的に腰を捻った。	30	19	80201	10～ 29
71	2017	5	10～ 11	開発テストキッチンでほぼ満タンに入ったお茶を沸かした片手鍋を移動させようとして鍋を持ち上げた際に、鍋が重たくバランスを崩して左足にお茶（熱湯約90℃）をこぼしてしまった。	37	4	10109	300 ～ 499
72	2017	5	14～ 15	高さ1.6mの台に載っているC75×145×3.2の鉄骨材料の上に乗りに結束されている材料の結束バンドを取り外していたところ、作業が終わり降りようとした時、ギックリ腰が痛くなりバランスが崩れ飛び降りてしまい、地面にかかとから落ちた。	47	19	10409	10～ 29
				道路誘導標の移設工事現場で、地中から掘り起こし置いておいてコンクリートの基礎をダンプに積み込む為、バックホー				

73	2017	5	15～ 16	にワイヤーを掛け4点吊りをする際、一旦地面から基礎を少し吊り上げて、その下に台を置こうとした際に基礎が斜めになり、作業員の右手と右太ももに落下した。後方には基礎が立っており逃げ切れなかった。	79	4	30199	1～9
74	2017	4	14～ 15	配送先1にて、2tトラックより荷下ろし作業中、荷台より荷物を引き出す際に、荷物が段差に掛かり腰を捻る。配送先2にて（1、2は同日）、配送先1での腰の痛みは大した事ではなかったため、従業員と共にアルミ鋳物製品が入った木箱（約20kg、9個）の積み込み中に、距離約7mを手持ちで移動・積み込み、腰を痛めた。	54	19	170101	500 ～ 999
75	2017	4	10～ 11	空気弁の鉄蓋をこじ開けて、鉄蓋と蓋枠の間に隙間をつくり、右手で鉄蓋を支えて開けようとしたが、鉄蓋が思いのほか重かったため支えきれず、鉄蓋と蓋枠との間に指を挟み被災した。	42	7	11603	10～ 29
76	2017	4	10～ 11	商品を荷降ろし中に自車両に積んでいた荷物（一斗缶）が滑り、左足親指の近くの甲に落下した。	60	4	40309	—
77	2017	4	4～5	作業中、右脇腹あたりに荷物が当たり痛みがとれなくなった。	47	6	40301	500 ～ 999
78	2017	4	10～ 11	納品先の病院薬局内の検品スペースにて、重さ約10kgの輸液の箱を多数台車に積み替えていたところ、作業スペースが狭かった為窮屈な姿勢で作業をせねばならず、持ち上げた商品の中腰でしゃがんだまま後方に置こうとした際、腰に痛みが走り、歩行が困難な状況となった。現場は怪我をした労働者にとっては応援で初めて入った得意先であり、慣れない重量物の運搬について十分な注意喚起が無かった為に事故が発生した。当初から通常の歩行が困難だったが、その後も治る気配がなかった。	32	19	40301	10～ 29

79	2017	4	7~8	施設内調理室にて調理中、調理用大鍋に水を張って持ち上げたとき、腰に痛みが走った。その後、痛みがひどく歩行も困難だったため早退した。	66	19	130201	30~ 49
80	2017	4	11~ 12	当社において、商品の仕分業務に従事していた。被災者がパレット置場からパレットを取り出す際、12段（約180cm）重ねてあるパレットを一番上から引っ張り出した時、地面に落ちた衝撃で手が離れてしまいパレットが被災者の方に倒れた。被災者は逃げきれず、倒れたパレットを左足に受け負傷した。原因はパレットを降ろす際に無理に引っ張り出した事による。	25	4	170101	30~ 49
81	2017	4	12~ 13	精肉冷蔵庫内で、荒挽肉（約15kg）が入ったバットを高さ160cmの棚に持ち上げたところバットケースが滑り落ちてきた。そのケースを左腕で押さえたが支えきれず、左肩に荷重がかかり痛めてしまった。当初から左肩に痛みはあったが様子を見ていたところ、痛みが増し、腕が上がらなくなった。	61	19	80209	100 ~ 299
82	2017	4	9~ 10	工場加工室において、わかめの水戻し作業中、水戻し水槽（W240cm×D70cm×H80cm）から丸ザル（Φ55cm×H18cm）に入った水戻し済みの若布（約8~12kg）を約1m後方のローラー台（H70cm×D45cm）へ移動する際、腰に痛みを感じ、腰椎圧迫骨折を負った。	67	19	10102	30~ 49
83	2017	3	9~10	重石を2つ持ちあげた際に腰に違和感があった。その翌日、約20kgの塩袋を持ち上げて小樽に移そうとした際、再度痛みが出た。	37	19	10103	50~ 99
84	2017	3	15~16	工場内で通常作業中、半製品（丸いロール状）にカバーをかける作業中、引っぱり過ぎて足の上に乗せてしまった。その際に安全靴を使用していたが、左足甲を痛める。	31	4	10805	100 ~ 299
				荷さばき場に駐車していたトラックの荷台で荷物を積みつけ				

85	2017	3	9~10	る作業をしていた際、長細い荷物を持って荷台へ積み込もうとしたところ、前方を気にして手元を見ていない状態で荷物を床に置いたため、荷物と床の間で左手の指を挟み痛みを感じた。	27	7	40301	50~ 99
86	2017	3	15~16	加工した製品を降ろそうとした時、製品を誤って足元に落下させてしまい左足を負傷した。	39	4	11209	30~ 49
87	2017	3	16~17	作業終了の為にバレテーナ（鉄製折りたたみ式収納用カゴ）を片付けていたところ、何台目かを移動する時に腰痛を覚えた。	25	19	150102	10~ 29
88	2017	3	17~18	1階構内にて作業中、足の悪いロールボックスを引いたところ、左足をボックスの下に挟まれて打撲となる。	26	7	40301	300 ~ 499
89	2017	3	15~16	当社工場内でフレキシダイカッターの印刷用インキの補充後、残ったインキの入った1斗缶を片付けようと不注意に持ち上げたとき、腰を痛めてしまった。	36	19	10602	30~ 49
90	2017	3	19~20	資材置き場で、リサイクル用圧縮ラップ（重量約30kg、外寸60×60×100cm）を手作業での積上作業中に、地上約150cmの3段目に積み上げているところで当該圧縮ラップが倒れそうになり、それを支えようとして咄嗟に右手を差し出したとき、右手小指を負傷した。	45	5	80109	1~9
91	2017	3	14~15	梱包作業所で梱包済みの小さめのダンボールを机からパレットに移動する際、肩幅より小さい幅のダンボールを持ち運ぼうとしたところ、大きさから予期できない重さ（15kg以上）があり、抱えきれず反動でパレットに置くときに腰を捻り、強い痛みが腰にはしった。早退後も強い痛みが引かず、コルセットでの腰固定やリハビリが必要となった。	54	19	50101	50~ 99
92	2017	3	18~19	帰宅時、自社第1車庫にて、フレコンパックを整理していたときにフレコンパックから飛び出していた釘が左手に刺さっ	53	3	40301	50~

				た。				99
93	2017	3	11~12	工場内、油圧部品（センタージョイント、旋回モータ他）を通箱からピッキング作業中に旋回モータ（重量32kg）を手持ちし、別の通箱に移そうとしたとき、手持ちしていたモータと通箱の縁で左手小指を挟み切創および骨折を負った。	50	7	170101	100 ~ 299
94	2017	2	16~17	被災労働者は、レジ打ち業務中に、缶ビール（500ml）の6缶パック（重さ約3kg）の上部にある把手を左手でつまむようにして持ちながら、買い物カゴの空いているスペースに置こうとした際に、そのスペースに合わせようと左手首を捻りながら置いたところ、左手首を痛めてしまった。その時は痛みを我慢できたが、その後痛みが増してきたので、しばらくして整骨院で施術を受けて休業することになった。	23	19	80209	50~ 99
95	2017	2	16~17	当社倉庫内において被災者は片付作業中、足元の鉄板に躓き転倒した。その際ダンボールに右眼付近が当たり負傷した。	40	2	11009	10~ 29
96	2017	2	14~15	天井クレーンを使って、バツカンの中に入ったスクラップをダンプの荷台に積み込み作業中、バツカンをひっくり返す為にフックを掛け換え、既に積み込まれていたスクラップの上での作業で地盤が不安定だった為にバツカンが滑り、左足の甲にずり落ちて来た。	46	6	150102	1~9
97	2017	2	6~7	荷物仕分け構内にて、荷物の仕分け、積み込みの際、重量のある大きな荷物をトラックに積み上げる時、重量のある大きな荷物を一人で積み上げた為、右胸辺りが肉離れとなった。	53	19	40301	300 ~ 499
98	2017	2	9~10	工場内で2m×1mの鉄板が数枚で梱包されているものをずらし降ろした際に、左手の人差し指を挟んだものである。	34	7	11209	10~ 29
99	2017	2	13~14	砂糖工場にて袋物製品（20kg）を1人で5tコンテナに積み込みをしていた際、フォークリフトにてパレットに積んである製品をコンテナ間口まで持ってきてもらい、そのうちの1袋を取	56	1	40301	10~ 29

				ろうとした際、右足を滑らせコンテナ上（1.5m）より、腰から落下し負傷したものである。				
100	2017	2	10~11	会社工場で石油缶に入っている30kg位の荷物を移動中に足を滑らせ右膝に違和感を感じ、午後に痛みが強くなり受診した。その後、翌月会社で作業中、パレットに荷物を載せようとして負傷している足のつま先をパレットにぶつけ痛みが強くなる。	28	19	170209	—

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。